

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

【ニコニコ箱】

みずほ銀行(株)福井支店 村田 憲司支店長様
【誕生日御祝】 岩下春幸
入会のご承認、誠にありがとうございます。活動の一助となるよう努力致します。ご指導の程、よろしくお願いします。

(土肥正彦) 土肥さん、ご入会おめでとうございます。(石丸敦士) 土肥様、ようこそ。(江守康昌) 入会おめでとうございます。(酒井 孝) 土肥さん、入会おめでとうございます。ともに楽しく活動していきます。(佐々木輝明) 土肥正彦様、ご入会おめでとうございます。また、ご一緒出来る事嬉しいですね。山岸様(三誠工業(株)社長)足を向けて寝て下さい。しかしご紹介よろしくお願いします。(杉本裕之) 土肥会員、ご入会おめでとうございます。(玉木 洋) 土肥さん、ご入会おめでとうございます。(豊島雅之) 土肥さん、入会おめでとうございます。(鍋屋昌明) 土肥様、入会おめでとうございます。村田支店長、卓話ありがとうございます。(村中洋祐) 土肥会員、入会おめでとうございます。(森川圭造) 村田支店長、卓話ありがとうございます。(油谷啓司) 村田支店長、卓話ありがとうございます。(奥村隆司) 村田支店長、卓話ありがとうございました。(武本一美) 村田さん、卓話ありがとうございました。(平野洋一) 村田支店長、卓話ありがとうございました。(山井久也) 今日は月に一度の給料日。久しぶりに宝くじでも買おうかな。(朝倉真博)

中広委員長、辻副委員長、最後まであきらめずに頑張って下さい。(市橋信孝) 山岸さんの職場さんぽにて名前を出していただいたので。こちらこそお世話になっているので、遠慮なく足を向けて寝て下さい。(笑) (上田祐広) 昨日の炉辺会談、ご出席いただきありがとうございます。(片山加奈子)

今晚、孫が遊びに来ます。楽しみです。(片山 元) 財団の寄付が早くも達成。皆様ありがとうございます。次はニコニコも頑張ります。(城戸利枝) 昨日、福井県情報システム工業会 30周年記念式典が無事終了しました。ありがとうございます。(小森富夫) ニコニコの目標金額を達成するのに大変苦しんでいます。どうか皆様のご協力をよろしくお願いします!! (佐々木知也) ホテルリバービューアケボノピアテラスが今年も6月1日から始まります。(清水嗣能)

ニコニコ箱よろしくお祈いします。(辻恵利子) ニコニコピンチです!あと5回です。ご協力よろしくお祈いします。(中広 久) 今期の例会も残り5回となりました。ニコニコ目標まで最後まであきらめません。よろしくお祈いします。(西澤雄三) 1週間早くクールビズで来てしまいました。すみません。しかし、たいへん快適です。(野村直之) 先日は佐々木会長に「職場さんぽ」で来社して頂きありがとうございました。(山岸靖夫) 各 君

【米山奨学特別寄付金】

細江 究 来週の例会からクールビズが始まります。(佐々木知也) 各 君

【ロータリー財団増進特別寄付金】

油谷啓司 福井 RC 財団目標金額達成。今日の例会は 3280 回なので。(宮崎茂和) 各 君

【寄付金の状況】

	5月25日分	累計	目標
ニコニコ箱	81,000円	2,654,782円	3,170,000円
米山奨学金	3,000円	2,230,000円	2,330,000円
ロータリー財団	5,280円	2,828,320円	2,791,000円

ありがとうございました。

【ロータリー一次世代教師奨学金】

2014年度より3年にわたる募金活動を続け、今年度が最終年度となります。現在1,088万円の目標金額にあと少しで達成します。本募金は「福井大学基金」の教職大学院「次世代教育創成資金」を支援する活動です。次世代の教師育成の為に会員の皆様のご協力をお願い致します。



ビジター受付

- 6月6日(火) 福井7エックス ザ・グランユアーズフクイ 18:00-18:30
- 6月8日(木) 敦賀西 事務局(敦賀市東洋町1-1 プラザ萬象2階)
- 6月20日(火) 武生 武生商工会館1階
- 6月22日(木) 福井水仙 福井パレスホテル(1F) 18:00-18:30
- 6月27日(火) 武生 武生商工会館1階
- 6月30日(金) 福井あじさい ホテルリバービューアケボノ
- 6月30日(金) 福井西 バードグリーンホテル 正面玄関口
- 6月30日(金) 三国 三国観光ホテルフロント

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号 加藤ビル5階 TEL: 0776-25-0633 FAX: 0776-24-8622
 例会場 ユアーズホテルフクイ 4F TEL: 0776-25-3200
 クラブ会報委員会 委員長: 林 洋三 副委員長: 出雲路康照 委員: 太田 洋介・英 貴子
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 昭和25年11月1日(1950年) 承認 昭和25年12月4日(承認No.7647) 例会 毎週木曜日12:30~13:30

現在
会員数

134名




福井ロータリークラブ会報

理事	監事	役員補佐
会長 佐々木知也 (クラブ奉仕)	渡邊 義信 (監事 岡田 章)	副幹事 村中 洋祐
副会長・会長エレクト 平野 洋一 (職業奉仕)	片山加奈子 (監事 野村 直之)	副会計 伊藤 彰
直前会長 清水 嗣能 (社会奉仕)	油谷 啓司	副会場監督 山本 啓史
幹事 石丸 敦士 (国際奉仕)	小森 富夫	副会場監督 片山 元
会計 朝倉 真博 (青少年奉仕)	渡辺 和男	
会場監督 岩崎 新 (ロータリー財団)	清水 正一	

2016-2017 R.I. テーマ: 人類に奉仕するロータリー
 地区テーマ: 夢を語り、現在を刷新

本日の例会 2017年6月1日 第3282回

- 12時30分 開会点鐘 会長挨拶
 栄誉行事
 皆出席御祝 / 藤井健夫(19年)、西澤雄三(2年)、大村宏司(1年)
 在籍御祝 / 宮崎茂和(45年)、伊藤 島(35年)、村井 勝(25年) 杉本裕之(5年)
 誕生日御祝 / 城戸利枝、田添幸嗣、小藤幸男、岩崎 新、宮崎茂和、村上与司和 長谷美左子、早川信之、伊藤 彰、豊島雅之、清川卓二、酒井 孝 林 洋三、吉岡正巳、上田祐広、宮崎為夫、杉本裕之
 配偶者誕生日御祝 / 加藤 誠、山本一雄、北 晋介、岡田 章、清川卓二、中島康志 木瀬雅博、笹木竜三
 結婚記念日御祝 / 荒本秀一、吉村千春、竹原和行、村中洋祐、北 晋介、清川卓二 横山強志、尾崎隆伸、浮田慎太郎、千頭和孝則、村上与司和

委員会報告・幹事報告・その他
 ゲスト卓話(福井大学 教職大学院 准教授 半原 芳子様)
 演 題「福井発!日本の教師教育改革」
 13時30分 閉会点鐘

今後の予定

- 6月8日(木) ゲスト卓話(福井鉄道(株) 代表取締役 村田 治夫様)
- 6月15日(木) 会員卓話(吉田 清二会員)
- 6月22日(木) クラブ協議会 (年間活動実績報告)
- 6月29日(木) 最終例会 (ローターアクトとの合同例会)

次回の例会 2017年6月8日(木)
 会場: ユアーズホテルフクイ 開会点鐘: 12時30分
 ゲスト卓話 閉会点鐘: 13時30分
 (福井鉄道(株) 代表取締役 村田 治夫様)

会長挨拶



会長 佐々木 知也

昨日の日経新聞に、岩下会員の会社がステーキ店を始めるという記事が載っていました。まず7月末に1号店を福井でスタートさせ、順次北陸地区で数店舗を展開していく予定とのことでした。福井ロータリーのメンバーには特別価格でよろしくお願いします。
 山岸会員が経営する「三誠工業」を訪問してきました。父親が29年前に建築用杭打ち工事会社として創業したのが始まりで、彼は2代目社長として7年前に就任しています。事務所は綺麗にされていて杭打ち屋さんのイメージは全くありません。会社の仕事は「地盤補強業」といって建物を建てる際に地中にコンクリートパイルを打ち込んで地盤を安定させる仕事です。以前はコンクリート製の長い電柱のようなものを垂直に立て、てっぺんから「ドーン、ドーン」と打ち込み地中に埋設していましたが、騒音などの問題から現在では音の出ない別工法で行なわれています。
 関西の大学を卒業後、住友大阪セメントで5年間営業経験し福井に戻って来ました。子どもの頃は画家になるのが夢でいつも絵を描き、時間を見つけてはしょっちゅう美術館巡りをしていたそうです。今でも絵を描くそうですが、昔から好きな画家は「山下清画伯」です。いつか裸で日本

全国を周って絵を描いていきたいと言っています。
 三誠工業では、地質調査や設計という川上の仕事をやりながら杭打工事を受注するという一貫体制が特徴の会社で、まさしく職業内容は「縁の下の力持ち」であります。近い将来は大阪、名古屋での営業所展開も考えていると言います。
 山岸会員自身は何事をやるにも一途になるタイプで、元々負けず嫌いで凝り性な性格から、高校時代はテニスにのめり込み県内NO1にもなったそうですし、大学はテニス推薦で入学し、勉強よりテニスに打ち込んだそうです。当時、関西では同い年のプレーヤーに伊達公子がいたそうです。一緒にプレーしたことも面識もないようなのですが自慢話の一つだと語っていました。(どこが自慢なのかわかりません)
 会社の主要なお得意先としては大和ハウスさんや技建工業さんといった超優良会社でありまして、杉本会員や上田会員には決して足を向けては褒られませんとのことです。RC入会のきっかけもお二人のお誘いが背中を押したそうです。入会してまだ7ヶ月ですが、福井RCメンバーの名立たる会社の方々が、会報やチラシ配りを熱心に行っている姿に驚いたようで、そういう先輩会員の熱心な活動を見るにつけ自分も一生懸命チラシ配りに励みますとのこと。今ではロータリークラブに出席するのが徐々に楽しくなってきたとのこと。今後の活躍を期待したいと思います。

例会報告

2017年 5月 25日 第3281回 例会

出席報告

- 現在会員 134名
- 出席者 87名
- 欠席者 36名
- 出席免除者欠席 11名
- 今回例会出席率 70.7%

例会修正出席率

- 5月11日
- メークアップ 23名
 - 欠席者 20名
 - 修正出席率 84.5%

●メークアップ 渡邊義信(5/12 地区 2017-18第2回会員増強拡大・学友委員会)、村上憲司(5/19鯖江)、須賀原和広(5/20地区 2017-18年度「第4回ガバナー補佐研修セミナー」・5/21 第157回県下RC現・新会長幹事会・5/28 地区 R-7外第5回地区運営委員会)、佐々木知也・須賀原和広・石丸敦士・長谷美左子・橋本一也・土屋道照・北島 悟・木瀬雅博(5/24 福井RAC)、(5/25 今・次年度理事役員・委員長連絡会議 46名)、炉辺会談(第1班 5/29 20名、第3班 5/25 11名・第4班 5/24 12名)、佐々木知也(5/28 武生府中)、木村憲一(5/27(地区 クラブロータリー情報委員会会議) 各 君

例会

入会セレモニー



北陸電気工事(株) 福井支店 執行役員 福井支店 副支店長 土肥 正彦 会員

入会のご承認、ありがとうございます。活動の一助となれるよう努力致しますので、ご指導の程お願いします。



幹事報告



幹事 石丸 敦士

①本日1名の新会員をお迎えし、本年度5月現在、入会16名、退会7名、純増9名となり、会員総数134名となりました事、ご報告申し上げます。
②本日の「今年度、次年度理事役員・委員長連絡会議」のご連絡です。本日の例会終了後、13:45から「今年度、次年度理事役員・委員長連絡会議」を開催致します。場所は5Fのルミエールです。速やかなご移動の程どうぞ宜しくお願い致します。開会点鐘は、13:45です。

委員会報告



青少年奉仕委員会 渡辺 和男 委員長

ロータリー次世代教師奨学金について、募金のご協力をお願いしておりますがまだまだ目標額に達していません。特に新入会員の皆様からのご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



ロータリー財団委員会 清水 正一 委員長

本日の会報を見ていただきますと、寄付金の状況が記載されております。お陰様を持ちまして、今年度の目標を達成いたしました。ありがとうございます。また、7月からは新委員長の城戸さんが頑張りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ゲスト卓話



(株)みずほ銀行 福井支店 支店長 村田 憲司様

演題 「宝くじの歴史」

私どもみずほ銀行は、1945年に、最初の宝くじが発売された時以来、宝くじ業務の受託をさせていただいております。宝くじに縁のあるみずほ銀行の支店長が来て話をさせていただくという事で、みなさまの中には、「今日は、『よく当たるくじとは?』とか『当たるくじとは?』の見分け方」とかいった話を聞けるのでは?!とご期待されている方もいらっしゃると思いますが、残念ながら、そのようなものはございませんので、予めご了承くださいませ。

【宝くじの歴史】

日本の宝くじは、諸外国では“LOTTERY”すなわち「富くじ」と呼ばれています。世界の富くじの起源は、約2,000年昔のローマ時代までさかのぼりますが、今日の様な「近代的富くじ」となると、約570年前のオランダで、町の建設や要塞構築などの資金調達のため、「富くじ」を発行した記録が残されています。

一方、日本の富くじの起源は、約380年前の江戸時代初期、現在の大阪府である摂津国の箕面山瀧安寺(みのおさんりゅうあんじ)で、正月の元旦から7日までに参詣した人々が、自分の名前を書いた木札を唐びつの中に入れ、7日の日にお寺の僧侶がキリで3回突き、3人の「当せん者」を選び出し、福運の「お守り」を、授けたのが起こりとされています。

当初は、当せん者にお守りを授けるだけでしたが、その後

は次第に金銭に結びつき、「富くじ」として町に氾濫する様になり、やがては、徳川幕府が禁令を出すに至りました。

しかし、幕府はその後も寺社にだけは、修復費用調達の1方法として「富くじ」の発売を許したので、これを天下御免の富くじ「御免富(ごめんとも)」と呼びました。特に、「江戸の三富」として有名だったのは谷中の感応寺(やなかのかんのうじ)・目黒の瀧泉寺(めぐろのりゅうせんじ)・湯島天神の御免富でした。

しかし、幕府公認の御免富も、その後1842年の「天保の改革(12代将軍家慶・老中水野忠邦)」により禁じられ、以来、103年もの長い間、我が国では「富くじ」は発売されませんでした。1945年7月、政府は、戦費調達をはかるため、1枚10円で、1等賞金10万円が当たる富くじ「勝札」の発売を当時の日本勧業銀行に命令しました。この「勝札」は抽せん日を待たず終戦を迎えたため、皮肉にも「負札」となりましたが、現在のみずほ銀行と「宝くじ」の長い縁はここから始まったのです。その後、戦後の激しいインフレ抑制のため、政府は、1945年10月「宝くじ」という名称で、「政府第一回宝くじ」を発売しました。

『宝くじ』という呼び方についてですが、これはわが国独特のもので、宝くじの創成期である終戦直後に、当時の日本勧業銀行の行員が発案した呼称です。その名前の由来は、戦後の物資不足にありました。当時1枚10円の宝くじは、綿布、缶詰、嗜好品などを賞品として設定しましたが、ノドから手が出るくらい欲しい「宝物」のような品々が当たる「くじ」ということで、「宝くじ」と名付けたのです。その後、戦災によって荒廃した地方の復興資金調達をはかるため、地方自

治体が宝くじを発行できることとなり、その第一号は、1946年12月、福井県で『福井県復興宝くじ』(通称フクフクくじ)が発売されました。戦後直後の一等賞金は10万円、昭和22年100万円、昭和43年1,000万円、その後…、と歴史を積み重ねております。

【発売の仕組み】

全国の都道府県ならびに20政令指定都市が発売元となり、発売等に関する事務はみずほ銀行が受託しています。1945年の宝くじ発売開始以来、2001年度に初めて販売額が1兆円の大台を越えた後、2008年度までの8年間と2011年度(東日本大震災復興宝くじ)の計9年度で1兆円の大台を超えています。2015年度の販売額は9,154億円、販売枚数は約37.2億枚で、日本人1人当たり1年間に約29枚購入した計算になります。また、全国の満18歳以上の男女を対象にした、宝くじに関する約1万人を対象としたサンプル調査では、最近1年間に1回以上宝くじを買った人は、52.6%で、大変多くの方に宝くじをご購入いただいていることが分かります。みなさまにもおなじみのジャンボ宝くじは、近年賞金もだんだんと大きく、1億円から3億円4億円、5億円などについては一等7億円、前後賞合わせて10億円という時代となっております。2015年度においては、1億円以上の当選金を手にした方は、353人の億万長者となっております。

ところで、宝くじの売上はどのように使われているかご存知でしょうか。2015年度の場合、売上の47.0%(4,303億円)は当せん金として購入者に、39.8%(3,639億円)は収益金として、発売元に納められています。そして、残りが宣伝費や印刷費等の経費(1,000億円強)です。発売元に納められた収益金は、地方自治体によって、教育施設、道路、橋梁、公営住宅、社会福祉施設などの整備事業や文化芸術の振興、高齢化少子化施策、スポーツ事業の運営費など、幅広く公共事業等に使われています。福井県では昨年度では23億円の収益金があり、たとえば、春江にあるエンゼルランド福井の運営費(およそ3億円)、こどもの医療費(およそ8億円)、恐竜博物館史料費や、道路整備事業等にあてられています。例えハズレたとしても、世の中のお役に立っていると考えてみてください。宝くじの購入は、「身近な社会貢献」と言えるのではないのでしょうか。

ところで、宝くじの当せん金には、時効がありまして、せっかく当せんした宝くじも、支払開始日から1年を経過すると、時効となり、当せん金を受け取ることが出来なくなります。2014年度の宝くじの売上が、9,007億円であったのに対し、翌2015年度に時効を迎えた当せん金は、165億円もありました。なお、みなさまの中には、時効となった当せん金はみずほ銀行の収益になっている、と考えている方がいらっしゃるかもしれませんが、時効となった当せん金は、発売元に収益金として納められ、公共事業等に使われています。

さて、実際に高額当せんされている方というのはどんな方なのでしょう?その素顔に迫ってみたいと思います。

当せん者のみなさんは意外と堅実で、一番多いのが「貯蓄」です。次いで「土地・住宅の購入」、「借入金の返済」の順に続きます。「旅行」や「趣味・レジャー」といった余暇関連に使うとした方を大きく引き離しており、「今」よりも「将来」を重視する堅実な傾向がうかがえます。

たとえばある日突然数億円の当せん金を手にする幸運に恵まれたらどうするか、お考えください。ご存知の方も多数いらっしゃると思いますが、当せんには税金はかかりません。

今・次年度 理事役員・委員長連絡会議

5月25日(木)13:45~ユアーズホテルルミエールにて「今・次年度理事役員・委員長連絡会議」が行われました。今年度各委員から事業報告、次年度各委員から事業計画が発表されました。



生々しい話ですが、まるっとフリーの10億円ということですから。ちなみに、当せんした際には、高額当せん者に対する銀行からのアドバイスとしてさせていただくことになるのですが、そのあたりを少々ご紹介させていただきながら、イメージトレーニングをしていただければ。

当せん者のかたには、小冊子、題して「その日から読む本(突然の幸運に戸惑わないために)」というものが準備されています。その中身については、要は、今あなたは興奮状態にあり、思いつきで行動せずに、最低限の動き、普段どおりの行いをしばらく続けて、冷静になってよく考えようということです。

先ほど、当せん金には非課税と申しましたが、留意点を一点。当せん者が第三者等へ贈与する場合には当然贈与税等が必要となってくる点にご留意してください。グループ買の場合には、当せん金受け取りの際に、グループ購入者全員の委任状とともに、当せん金を受け取ることで、それぞれに分けた形で当選証明が手に入れることが出来ますので、その証明書をベースに非課税の扱いとなる点を含んで置いてください。

さあ、大体、当選の準備が出来たでしょうか。後は当てるだけです。先ほども申し上げましたが、売り上げの一部は、福井県の財政に寄与し、地域貢献にもなりますので、積極的にご購入くださいませ。

みずほ銀行宝くじ部は今年度宝くじ活性化と称して、広告宣伝を強化することのみならず、イベント感を盛り上げながら、セールスプロモーションを展開していくことを予定しております。ただいま発売中のドリームジャンボ(前後賞合わせて7億円)、ミニ1億円では、すでにテレビ等のコマercialで流れておりますが、ドリーム感の醸成、華々しさを演出して「宝塚との夢のコラボ」と名づけて、宝塚歌劇団(公演招待券、宝塚グッズプレゼント)とのコラボレーションを行っております。また、数字選択式の宝くじについても、妻木木聡さんと柳葉敏郎さんのテレビコマーシャルも評判となっている「ロト7」は、キャリーオーバー発生時には、宝くじ史上最高の1等賞金10億円の超大型賞金が期待できる商品です。ジャンボを含めて金額が大型化しておりますが、当選確率、本数増やしたミニ、一等1億円の宝くじとか、数字選択式宝くじでも最近では、「ビンゴ5」など商品性の拡充も実施しております。販売チャネルの強化として、店頭での販売強化(販売店の増加、広告宣伝強化)のみならず、今後コンビニでの販売や、インターネットでの販売も始めていき、より一層身近な存在して、気軽に購入して、楽しんでいただける宝くじとして展開していく予定です。現在販売中のドリームジャンボ宝くじは1等5億円、前後賞合わせて7億円、ドリームジャンボミニ1等1億円について、6月2日(金)まで発売中でございます。高額当せん最大の秘訣は「宝くじを買うこと」です。やっぱり、宝くじは買わなければ当たりません。あつた方すべての方の共通点は「宝くじを買ったこと」ではないのでしょうか。1枚といわず10枚、20枚、30枚の宝くじにぜひ大きな夢を託してみたいかがでしょうか。みなさんに宝くじの神様が微笑むことをお祈りしております。

さて、お陰さまで、今や、「国民の健全な娯楽」、「夢」としてすっかり定着した宝くじですが、これからも、さらに魅力あふれるものとなるよう、さまざまな工夫がされていくものと思います。「ちょっとした身近な社会貢献」、「地元貢献」として、宝くじとみずほ銀行を今後ともよろしくお願いいたします。